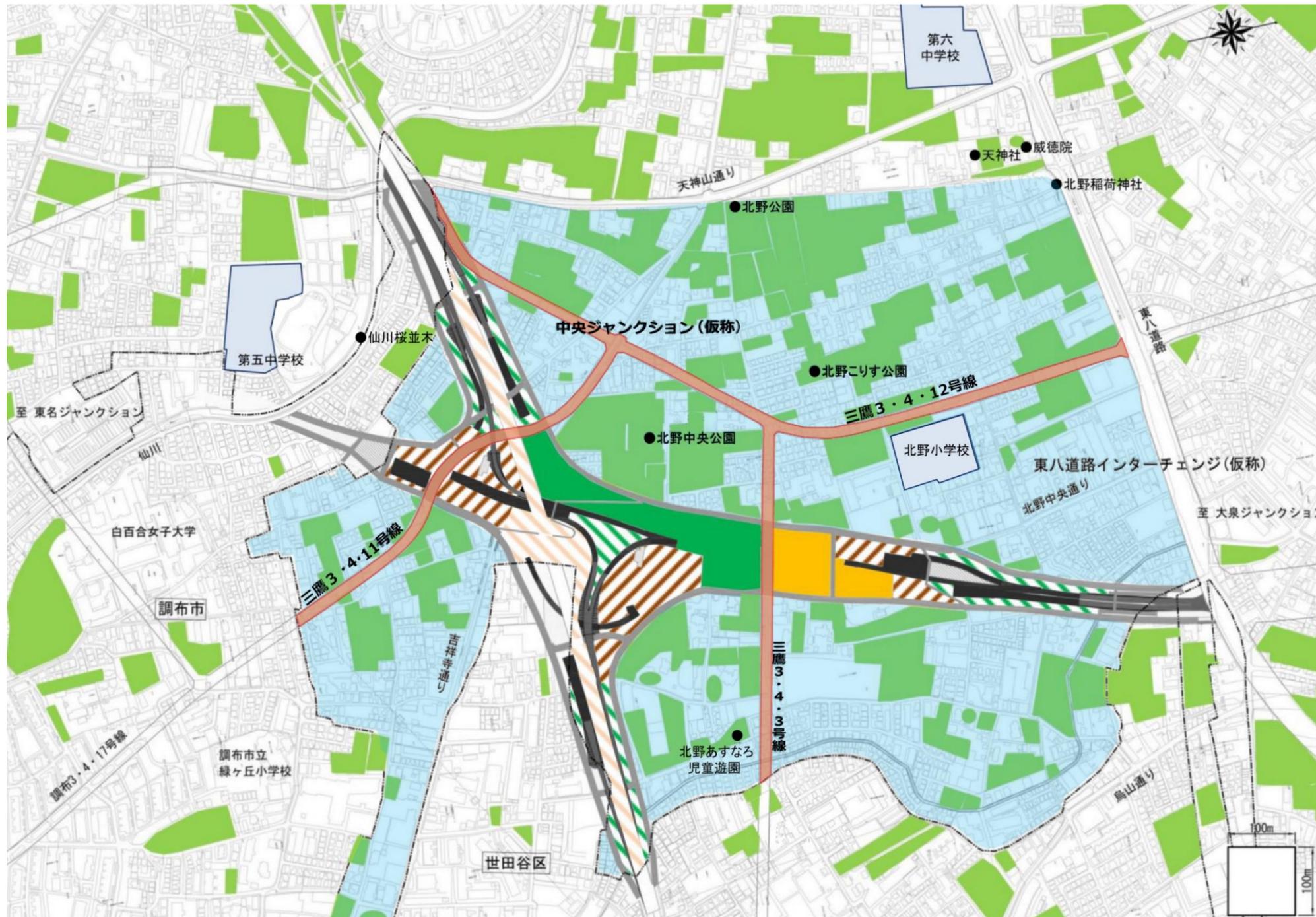


2 北野の里（仮称）まちづくりワークショップ ゾーニング案のまとめ



農・住調和形成ゾーン 約 80ha

【コンセプト】

北野の里(仮称)の景観をつくる農地や、みどり豊かな環境を守り、みどりの連続性に配慮した安全・安心なまちづくりまちづくりをする。

【将来像】

北野の穏やかでおおらかな住環境、それを支える農地・屋敷林・並木などの自然環境を保全することを念頭に、地域資源を繋ぎ合わせた回遊ルートの創出や、安全安心な歩行ネットワークの構築、今後の土地利用計画に関する規制や誘導などによる影響に配慮した北野らしい景観づくりを地域のみなさんと協働でめざします。

農・自然共生ゾーン 約 2.1ha

【コンセプト】

北野の緑と農のある風景を望むことができ、多世代がそれぞれの活動を通じて交流する憩いの空間を形成する。

【将来像】

北野らしい景観と一体となった畑や芝生地などの、みどり豊かな環境が広がり、子どもから大人まで多世代がそれぞれの活動を通じて楽しみ、憩える空間です。この空間では富士山への眺望やせせらぎのある親水空間など、子どもたちを見守り、次世代に地域コミュニティを受け継ぐ場として、地域の方々とともに里の中心となる顔づくりをめざします。

高架下多目的・活動ゾーン 約 2.3ha

【コンセプト】

高架下を利用したつながりに配慮し、スポーツやレクリエーションが楽しめる防災機能も合わせ持つ、多目的な空間を形成する。

【将来像】

高架で分断されることがないように、みどり豊かな環境に配慮し、安全性や利便性の向上を図るとともに駐車場や防災機能などの整備を検討します。また、高架下という特性を生かし、雨天時にも多様なスポーツやレクリエーションを楽しむことができる空間づくりをめざします。



(換気所・料金所など) 約 3 ha

【コンセプト】

換気所・料金所などの高速道路施設と周辺のみどりや様々な活動が一体となって、北野らしい景観を形成する。

【将来像】

都心交通の渋滞緩和や都市環境の改善を図るために整備された中央JCT（仮称）を支える付帯工作物（換気所など）がある空間です。ここでは、環境に配慮した取り組みや周辺の景観との調和に加え、北野の里（仮称）のシンボルともなるような空間づくりをめざします。



(その他工作物) 約 2 ha

付帯工作物との連携ゾーン 約 5ha



スポーツ・交流ゾーン 約 1.2ha

【コンセプト】

多様なスポーツを通じて地域のコミュニティをはぐくむ、活気ある交流の空間を形成する。

【将来像】

多様なスポーツ競技を団体でも個人でも行うことができる多目的な空間で、北野の景観に配慮した緑地空間などにより運動や活動を支え、地域ならではの管理・運営により、誰もが活発に地域交流をはぐくむ場づくりをめざします。